

第2次戸田市図書館ビジョン 進捗状況

資料2-1

方針1. すべての市民の学びを支援する図書館

図書館を利用する上での障害を減らし、すべての市民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる環境の実現を目指します。

【評価】令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価
3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった
【方向性】令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標
継続 ・拡大・ 新規の3つに分類
拡大＝新規の取組みとまでは言えないが、改善を見込んでいる。
継続＝昨年同様の取り組みを実施。
拡大新規＝現在の取り組みに加え、新しいことに取り組むもの。
新規＝来年度から新たに実施するもの。

館	番号	主な施策	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度方向性	令和7年度(予定)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中央図書館	1	ライフステージに応じたサービスの充実 (ニーズに合った資料の提供、講座等の実施)	児童・保護者向けには読み聞かせや調べ学習を中心に、大人向けには市民大学認定講座を中心に事業を行うことで、それぞれのニーズに合った取り組みを行った。	児童向けには各種読み聞かせ、調べ学習、工作会、プログラミング講座、託児付きイベントなど実施し、シニア向けには文学講座、古典講座、地域資料活用講座に加え、40周年イベントにて工作会、古民家おはなし会、ビデオ上映会などを実施してサービスの充実を図った。	児童向けには各種読み聞かせ、調べ学習、工作会、プログラミング講座他、親子に対しては託児サービスや託児付きイベント、大人向けには映画会の開催、文学講座、古典講座、地域資料活用講座他などを開催し、それぞれのニーズに合った取り組みを行った。 【課題】年齢層の低いイベントの充実。託児サービスの実施回数の増希望する利用者の声あり。	A	拡大新規	従来のサービスに加え、赤ちゃんおはなし会の創設、託児サービスの実施回数増(週1回→2回)、シニア向け電子図書館の使い方講座などへ新規に取り組むなど更なる充実を図る予定。			
	2	電子図書館の拡充 (非来館貸出、文字拡大、読み上げ機能に対応)	児童からYAまで手に取りやすい作品を集めた読み放題バックを導入し、利用者の拡大を図った。	電子図書館の充実を図るとともに、新しい読み放題バックの追加導入を行った。	電子図書館の充実を図るとともに、新しい読み放題バックを導入した。 【課題】電子図書館の資料の増を望む利用者の声あり。	A	拡大	予算を大幅に増やして電子図書館の充実に取り組むとともに、従来の児童本読み放題バックに加え電子雑誌読み放題サービスを導入する予定。			
	3	バリアフリーサービスの実施 (録音図書、点字図書、対面朗読、大活字本等)	1階閲覧室にバリアフリーコーナーを設置して、バリアフリー資料とサービスの認知拡大と利用促進を図った。	バリアフリーコーナーのよりわかりやすい場所への移動、40周年イベントでのバリアフリー映画会、マルチメディアデジジ体験会、LLブック・バリアフリーサービスの展示や、布絵本の広報誌掲載などを行った。	バリアフリー映画会の開催、デジジ資料(戸田市障がい者総合計画デジジ版&概要デジジ版)のバリアフリーコーナーへの開架展示、布絵本の館内提供を行った。 【課題】利用率の向上。	A	拡大新規	りんごの棚に取り組むとともに、リーディングトラッカー・カラーバールーベのカウンター配置を行う。 また、図書館が所有するデジジ資料・マルチメディアデジジ資料の周知(リストの公開など)にて利用者の拡大を図る予定。			
	4	来館困難者に向けたサービスの充実 (団体貸出、出張貸出、郵送貸出、オンライン講座等)	図書館にて登録された視覚障害をお持ちの21名に対して郵送貸出を実施している。	図書館にて登録された視覚障害をお持ちの20名に対して郵送貸出を実施した。	図書館にて登録された視覚障害をお持ちの18名に対して郵送貸出を実施した。	A	継続	継続			
	5	日本語を母国語としない人へのサービス (外国語資料の収集、外国語案内の作成等)	カウンターにポケットクを配置し、サービスの充実を図るとともに、託児サービスをTIFAのSNSに掲載するなど図書館事業の認知拡大に努めた。	外国語資料の拡充と、多言語指差しシート(5か国語)・ポケットによる図書館サービスの充実に努めた。	ポケットを増やし(1台→2台)、1階と2階それぞれの対応合わせへの対応力の差を無くすと共に、外国語資料の拡充を図った。	A	拡大	外国語版ホームページのバージョンアップを図ってわかり易くするとともに、外国語(英語)イベントなどを開催する予定。			
	6	図書館ホームページの充実 (情報発信、利用案内、予約・リクエスト等)	ホームページのデザインを見直すとともにコンテンツを充実させたうえで図書館ホームページとSNSと連動させた情報発信を心掛けた。	ホームページのデザインを見直すとともにコンテンツを充実させたうえで図書館ホームページとSNSと連動させた情報発信を心掛けた。	ホームページのコンテンツの充実にとSNSとの連携を強化して、情報発信の質と量を向上させた。	A	拡大新規	図書館の独自SNSアカウントを作成して発信する情報量を増やす。 また、引き続きホームページの充実を図るとともに、外国語対応も強化する予定。			
	7	インターネット利用環境の整備、情報格差の解消 (デジタル講習会等)	図書館内のWi-fiスポットを拡充し、館内全域で利用可能となった。	オンラインで利用手続きやリクエストの受付開始 ホームページのリニューアル	令和6年3月から始動したシステム更新に伴いオンラインで利用手続きやリクエストの受付を行った。 広報やデジタルサイネージ、ホームページ、SNS等を活用し、広く情報発信を行った。 【課題】図書館のSNS活用が進んでいない。上戸田分館内でのWi-Fi利用可能を望む利用者の声あり。	A	新規	マイナンバーカードが図書館カードとして利用可能となったことの周知も含め、広報をより強化していきたい。SNSの活用をより進めていきたい。 今後、上戸田分館内でもWi-Fiの利用可能することに向けて準備を進めている。			
	8	施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備	施設案内やデジタルサイネージにビクトグラムを使用し、更にバリアフリーサービス情報の発信は白黒反転表示で行った。	埼玉県おもいやり駐車制度に対応した駐車区画の整備、段差の解消など施設バリアフリー化を推進した。	建物の入り口付近の溝蓋に、ベビーカーや、車いすご利用の方のためのグレーチングマットカバーを設置。杖をご利用の方のためのステッキホルダーのカウンター等への設置を行った。	A	継続	継続			
	9	サービス拠点の検討	先進自治体の事例等を収集し、検討を行った。	先進自治体の事例等を収集し、検討を行った。	視聴覚室での青少年の居場所としての利活用など、公共サービスの充実を図った。	A	継続	継続			
	10	設備修繕の計画的な実施	利用者から指摘された駐車場の水たまりの対策工事や、館内の快適な環境を維持するための設備改修を優先するなどで、予算を考慮しながら必要な修繕に優先順位をつけ計画的に取り組んだ。	特別展示室などの雨漏りや玄関前の漏水への対処、安全点検時に指摘を受けた箇所の修繕など必要な対策を優先順位に基づきながら実施した。	戸田公園駅のブックポストのリニューアル、特別展示室、アーカイブズ・センターなどの雨漏り修繕などを進め、来館者が快適に施設を利用できるよう環境整備を進めた。	A	継続	継続			
上戸田分館	11	ライフステージに応じたサービスの充実 (ニーズに合った資料の提供、講座等の実施)	国立がん研究センターによる巡回展示と福祉保健センターによるがん予防講座の開催	福祉保健センターによる生活習慣病予防講座の開催	福祉保健センターによる歯と口の健康講座の開催、関連資料の展示	A	継続	継続			
	12	バリアフリーサービスの実施 (録音図書、点字図書、対面朗読、大活字本等)	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置 【課題】更なるバリアフリーサービスの充実。	A	新規	アクセシブルライブラリーの導入、リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置			
	13	日本語を母国語としない人へのサービス (外国語資料の収集、外国語案内の作成等)	多文化コーナー設置、外国語の利用案内作成・配布	多文化コーナー設置、外国語の利用案内配布、中国語図書(絵本)の受入	多文化コーナー設置、外国語の利用案内配布、韓国語図書の受入 【課題】利用率の向上。	A	拡大	多文化コーナー周知のためのチラシやブックリストを作成、配布予定。			
	14	施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備	耳マークの掲出、耳の不自由な方へは筆談対応	耳マークの掲出、耳の不自由な方へは筆談対応	耳マークの掲出、耳の不自由な方へは筆談対応	A	継続	継続			

方針2. 地域の情報拠点としての図書館

地域資料及び行政資料を積極的に収集・保存し、情報提供を行います。また、市民の抱える問題や地域の課題解決のため、専門性の高いスタッフによるレファレンスサービスを行います。

〔評価〕令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価
3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった
〔方向性〕令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標
継続 ・拡大 ・新規の3つに分類

拡大＝新規の取組みとまでは言えないが、改善を見込んでいる。
継続＝昨年同様の取り組みを実施。
拡大新規＝現在の取組みに加え、新しいことに取り組むもの。
新規＝来年度から新たに実施するもの。

館	番号	主な施策	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込みも含む	評価	令和7年 度方向性	令和7年度(予定)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中央図書館	1	地域資料、行政資料の収集と保存、情報提供	地域資料や行政資料を収集し、整理・展示している。	地域資料や行政資料を収集し、整理・展示を行うとともに、市民大学講座として郷土資料活用講座を開催し、アーカイブの公開も行った。	戸田公園から多くのポート関連資料を寄贈いただくなど資料の充実に努めるとともに、戸田公園にてポート関連の貴重本を展示を行い、多くの市民に情報提供を行った。	A	継続	継続			
	2	市民抱える問題や地域の課題解決に役立つ資料の提供とレファレンスサービス (ビジネス支援、医療情報、介護情報、防災情報等)	利用者の質問項目に対する調査体制を見直し、対応のスピードアップを図った。	利用者の質問事項に対する迅速な調査や資料提供に努めた。特に郷土関連レファレンスについては内部研修でスタッフのスキルアップを図った。	利用者の質問事項に対する迅速な調査や資料提供に努めた。	A	継続	継続			
	3	他の図書館、施設等との連携 (相互貸借、レファレンスサービス、広域利用等)	県立図書館とボランティア養成講座の講師派遣や、図書館と県民まつりへの参加を通じて関係強化を図った。	利用者サービス(相互貸借や広域利用など)で他図書館と連携したほか、展示では県立図書館との連携展示を行い、バリアフリーサービスでは鶴ヶ島市立中央図書館などとノウハウの共有を行った。	利用者サービス(相互貸借や広域利用など)で他図書館と連携したほか、昨年に引き続き県立図書館と連携展示を行った。	A	継続	継続			
	4	利用者と資料を結びつける事業 (テーマ展示、ブックリスト、パスファインダー等)	時事ネタや博物館展示に関連した本や、亡くなった著名作家の本を展示することにより、利用者が本を手に取りやすい環境を作っている。	博物館展示、各強化月間、亡くなった著名作家に関連した本を展示するとともに、市民大学講座等に関連したブックリストの公開も行い、利用者と資料を結びつける取り組みを行った。	各強化月間、亡くなった著名作家に関連した本、博物館展示の関連本などを展示するとともに、市民大学講座等に関連したブックリストの公開も行い、利用者と資料を結びつける取り組みを行った。	A	継続	継続			
	5	専門的知識のあるスタッフの配置と育成 (有資格者の採用、研修機会の確保等)	司書資格者を採用して司書比率を高めるとともに、スタッフに各種研修を行いスキルアップを図った。	司書資格者を下戸田分室、下戸田南分室へ配置するとともに、スタッフには各種研修を行ってスキルアップを図った。	司書資格者の採用を進めるとともに現スタッフの司書資格の取得を推奨した。また他にもスタッフにへの各種研修を実施しスキルアップを図った。	A	継続	継続			
上戸田分館	6	地域資料、行政資料の収集と保存、情報提供	ミニコミ誌にて地域の史跡紹介	ミニコミ誌にて地域の史跡紹介、イオンモール北戸田にてミニコミ誌記事の展示	ミニコミ誌にて史跡紹介記事の継続、とだばりウォークの開催(年2回)	A	継続	継続			
	7	市民の抱える問題や地域の課題解決に役立つ資料の提供とレファレンスサービス (ビジネス支援、医療情報、介護情報、防災情報等)	医療・健康情報コーナーの設置、介護・ケア情報コーナーの設置、中央地域包括支援センターとの連携展示(年2回)、防災情報コーナーの設置	医療・健康情報コーナーの設置、介護・ケア情報コーナーの設置、中央地域包括支援センターとの連携展示(年2回)、防災情報コーナーの設置	医療・健康情報コーナーの設置、介護・ケア情報コーナーの設置、中央地域包括支援センターとの連携展示(年2回)、防災情報コーナーの設置	A	継続	継続			
	8	他の図書館、施設等との連携 (相互貸借、レファレンスサービス、広域利用等)	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置	防災専門図書館との相互発信(Twitter)、中央地域包括支援センターとの連携展示(年2回)	防災専門図書館との相互発信(X:旧Twitter)、中央地域包括支援センターとの連携展示(年2回)、特別養護老人ホームとだ優和の杜出張おはなし会	A	継続	継続			
	9	利用者と資料を結びつける事業 (テーマ展示、ブックリスト、パスファインダー等)	館内の展示コーナー	館内10カ所の展示コーナー、郷土博物館の展示との連携展示、彩湖自然学習センターとの連携展示、未来屋書店北戸田店との連携展示、小学生・中学生の作品展示	館内10カ所の展示コーナー、郷土博物館の展示との連携展示、彩湖自然学習センターとの連携展示、小学生・中学生の作品展示の継続	A	継続	継続			
	10	専門的知識のあるスタッフの配置と育成 (有資格者の採用、研修機会の確保等)	研修受講、社内研修の実施	研修受講、社内研修の実施	研修受講、社内研修の実施	A	継続	継続			

第2次戸田市図書館ビジョン 進捗状況

資料2-1

方針3. 子どもの読書を推進する図書館

発達段階に応じたきめ細やかな施策を実施するとともに、図書館、学校、家庭、地域が連携して読書環境の整備を実施します。

【評価】令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価
3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった
【方向性】令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標
継続 ・拡大 ・新規の3つに分類

拡大＝新規の取組みとまでは言えないが、改善を見込んでいる。
継続＝昨年同様の取り組みを実施。
拡大新規＝現在の取り組みに加え、新しいことに取り組むもの。
新規＝来年度から新たに実施するもの。

館	番号	対象	主な施策	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年 度方向性	令和7年度(予定)	令和8年度	令和9年度
中央図書館	1	乳幼児保護者向け	子供連れでも利用しやすい環境の整備 (託児サービスの充実等)	託児サービスや託児付きイベント開催し、気兼ねなくイベントに参加できる環境を作り上げた。	託児サービスの時間を変更して利用者の拡大を図るとともに、託児付きイベントを開催して小さいお子様を持つ親が気兼ねなく図書館イベントを楽しめる環境を作り上げた。	利用者の参加状況や声などから、おはなし玉手箱の一部を午前開催に変更し、多くの参加者を楽しんでいただいた。また、従来通り託児サービスや託児付きイベント開催し、子どもを連れた方でも気兼ねなく図書館利用・イベント参加ができる環境を作り上げた。 【課題】子育て世代への更なるサービスの充実。	A	拡大 新規	令和7年度から従来のおはなし会に加え「赤ちゃんおはなし会」を実施し、いままで以上に幅広い層におはなし会を楽しんでいただく。 また、託児サービスの実施回数を増やし(週1回→2回)、子供を連れた方が図書館利用やイベントに参加できる環境を充実させていく予定。		
	2		ブックスタート事業の継続	毎月第4木曜日に福祉保健センターで健診を終えた親子に対して絵本のプレゼント、DVDによるブックスタートの意義や効果の説明を行った。 また、希望者には直接読み聞かせを行いおはなしの素晴らしさを伝えた。	毎月第4木曜日に福祉保健センターで健診を終えた親子に対して絵本のプレゼント、DVDによるブックスタートの意義や効果の説明を行った。 また、希望者には直接読み聞かせを行いおはなしの素晴らしさを伝えた。	ブックスタート事業(毎月第4木曜日に福祉保健センターで健診を終えた親子に対して絵本のプレゼント)を実施するとともに、新型コロナウイルスのまん延によって中止していた対面の読み聞かせサービスを今年度から再開し、多くの方々に読み聞かせ、ブックスタートの意義や効果の説明を行った。	A	継続	継続		
	3		子育て支援施設等との連携 (団体貸出、出前講座等)	保育園/幼稚園の先生向けにおはなしボランティア養成講座を案内した。	保育園などの子育て支援施設へ団体貸出を行うとともに、児童書リサイクルへの参加を多くの施設に呼びかけた。	保育園などの子育て支援施設へ団体貸出を行うとともに、児童書リサイクルへの参加を多くの施設に呼びかけた。 【課題】地域の保育園・幼稚園との更なる連携強化。	A	拡大 新規	従来通りのサービスを継続するとともに、保育園/幼稚園への出張おはなし会などのサービスを新規に進めていく予定。		
	4		図書館員やボランティアによる読み聞かせ等のイベント	ボランティア主体の3つのおはなし会を開催するとともにイベントでも読み聞かせを行った。また美世公民館まつりへ読み聞かせで参加した。	ボランティア主体の3つのおはなし会に加え、40周年イベント、児童イベントでも読み聞かせを行った。 また、新規事業として美世公民館での読み聞かせを月1回開催した。	中央図書館では、ボランティア主体の年齢別のつのおはなし会を開催するとともにイベントでも読み聞かせを行った。また美世公民館でも月1回の美世のおはなし会を開催した。 【課題】より年齢層の低い子ども(親子連れ)をターゲットとしたサービスの充実。	A	拡大 新規	中央図書館の3つのおはなし会を再編して赤ちゃんおはなし会を加えた4つのおはなし会にする予定。		
	5		保護者、保育者、先生向けの講座の実施	託児付きイベントで保護者向けのテーマを行うとともに、よみかかせボランティア向け養成講座を市民大学講座として開放し広く参加者を募った。	保護者向けには託児付きイベントを開催し、保育者・先生向けにはおはなしボランティア養成講座の5回を市民大学講座として開放した。	保護者向けには託児付きイベントを2回開催し、保育者・先生向けにはおはなしボランティア養成講座(全6回)のうちの3回を市民大学講座として開放した。	A	継続	継続		
	6	乳幼児・児童青少年向け	読書活動の促進 (読書手帳の配布等)	希望者に対して読書手帳の配布を実施している。	希望者に対して読書手帳を配布するとともに、新図書館システムには読書記録機能を盛り込んだ。	新図書館システムの読書記録機能を活用するとともに希望者に対する読書手帳への配布も継続して読書へのモチベーションアップを図った。 【課題】おはなし会のリピーター、参加者数の増。	A	拡大	現在は読書50冊を達成するとスタンプを押す仕組みになっているが、50冊の前にミニ達成賞を細かく設定することによってより読書へのモチベーションアップを図れるように変更する予定。		
	7		図書館利用につながるイベントの開催	図書館たんけん、工作会、ぬいぐるみおとまり会など、普段図書館を利用しない児童も興味を持つテーマでイベントを行った。	原画展・パネル展や40周年としゃかん感謝祭での児童作家のトークショー、企業とのコラボ企画など児童が興味を持つイベントを開催した。	地元小・中学校の生徒の作品展や地元中学校の吹奏楽部によるミニコンサートを開催、ぬいぐるみおとまり会、工作会、図書館たんけんなど児童や生徒が興味を持つイベントを開催した。	A	継続	継続		
	8		児童コーナー、YAコーナーの充実	展示や飾りつけの充実や定期刊行物による情報発信、書架の拡充で児童・YAコーナーの充実を図った。	展示や飾りつけの充実、定期刊行物による情報発信、書架の拡充で児童・YAコーナーの充実を図った。	引き続き展示や飾りつけの充実、定期刊行物による情報発信、書架の拡充で児童・YAコーナーの充実を図った。	A	継続	継続		
	9	児童青少年向け	電子図書館の利用促進	読み聞かせバックの導入などでタイトルの充実を図るとともに、ホームページ/SNS/チラシ等で認知拡大に努めた。	タイトルの充実を図るとともに、読み放題バックの導入、ホームページ/チラシ等で認知拡大に努めた。	引き続きタイトルの充実を図るとともに、読み放題バックの導入、ホームページ/SNS/チラシ等による認知拡大を図った。 【課題】利用率の向上。	A	拡大	電子書籍の購入予算を増やしてライナップの充実を図るとともに、絵本読み放題バックに加え雑誌の読み放題バックを導入して、より魅力的な電子図書館にする予定。		
	10		学校との連携 (団体貸出、図書室支援、出前講座、職場体験、図書委員との交流等)	団体貸出、出前講座、調べる学習コンクール等で学校とのコミュニケーションを充実させるとともに、本好きサポーターの研修を2回行うなどネットワークの構築にも注力した。	学校団体貸出、出前講座、スリーデイス受入、ロビーでの作品展示、調べる学習コンクールの開催等にて地域の学校との交流を図るとともに、埼玉県の不登校生徒支援教室「いっぽ」、戸田市の「ステップ」と連携し、図書館にて特別な出前授業を行った。	従来の学校との取り組みに加え、新館中学校の図書委員が作成した本のPOP展示、吹奏楽部によるミニコンサートなどを行って更なる連携強化を図った。 【課題】学校との連携強化。	A	拡大	従来の取組みに加えて布絵本の制作等でも連携するなど引き続き様々な形で学校との連携を深められる取組みを検討し、実施していく予定。		
	11		特別な支援が必要な子供に向けた資料の収集と提供	バリアフリー資料の拡充してコーナー作りを行い、広報戸田市やホームページに掲載し認知拡大して利用促進を図った。	バリアフリー資料、マルチメディアデジ資料、布絵本の拡充を図るとともに、認知拡大のために広報誌、ホームページへの掲載を行った。	バリアフリー資料、マルチメディアデジ資料、布絵本の拡充などを図るとともに、認知拡大のために広報誌、ホームページへの掲載を行った。 【課題】利用率の向上。	A	継続	継続		
上戸田分館	12	乳幼児保護者向け	子供連れでも利用しやすい環境の整備 (託児サービスの充実等)	キッズスペースでの個別おはなし会の開催	キッズスペースでの個別おはなし会の開催	キッズスペースでの個別おはなし会の開催	A	拡大	キッズスペースでの個別おはなし会のプログラムを充実させる予定。		
	13		図書館員やボランティアによる読み聞かせ等のイベント	赤ちゃん向けおはなし会実施回数拡大、センター事業でのミニおはなし会開催	赤ちゃん向けおはなし会実施、センター事業でのミニおはなし会開催	赤ちゃん向けおはなし会実施	A	継続	継続		
	14		保護者、保育者、先生向けの講座の実施	戸田第一幼稚園の先生へ向けた出張講座の実施	開催無し	おうちで絵本相談の実施(月1回) 【課題】より多角的な図書館からの情報発信。	A	拡大	おうちで絵本講座の実施(月1回)、「性教育ブックガイド」を館内及びセンター事業にて配布予定。		
	15	幼児・児童青少年向け	読書活動の促進 (読書手帳の配布等)	読書手帳配布、館内掲示、児童向け展示コーナーの設置	読書手帳配布、館内掲示、児童向け展示コーナーの設置	読書手帳配布、館内掲示、児童向け展示コーナーの設置	A	継続	継続		
	16		図書館利用につながるイベントの開催	おはなし会・上映会の実施、行政書士連携講座の実施、センター事業での本の展示	おはなし会・上映会の実施、行政書士連携講座の実施、調べ学習支援講座の実施、センター事業での本の展示	おはなし会・上映会の実施、行政書士連携講座の実施、調べ学習支援講座の実施、センター事業での本の展示	A	継続	継続		
	17		児童コーナー、YAコーナーの充実	YAコーナーの資料整備、排架区分「YA進路」の追加、児童向け資料展示コーナーの設置、グループ学習室の利用範囲拡大	YAコーナーの資料整備、児童向け資料展示コーナーの設置、グループ学習室の運用	YAコーナーの資料整備、児童向け資料展示コーナーの設置、グループ学習室の運用 【課題】既存施設(グループ学習室)の利用率の向上。	A	新規 拡大	YAコーナーの資料整備、児童向け資料展示コーナーの設置、グループ学習室にて学習用器材の導入、設置を予定。		
	18	児童青少年向け	学校との連携 (団体貸出、図書室支援、出前講座、職場体験、図書委員との交流等)	施設見学の受入	施設見学の受入、中学生社会体験事業の受入	施設見学の受入、中学生社会体験事業の受入、小学生PBLの対応	A	継続	継続		

方針4. 市民とともに活動する図書館

地域住民、ボランティア、関係団体、民間企業等と協働し、事業を行います。また、図書館運営協議会や利用者アンケートの意見等を反映し、より良い図書館サービス実現のため行政と指定管理者が連携して運営します。

〔評価〕令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価
3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった
〔方向性〕令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標
継続 ・拡大 ・新規の3つに分類

拡大＝新規の取組みとまでは言えないが、改善を見込んでいる。
継続＝昨年同様の取り組みを実施。
拡大新規＝現在の取り組みに加え、新しいことに取り組むもの。
新規＝来年度から新たに実施するもの。

館	番号	主な施策	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7 年度方 向性	令和7年度(予定)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中央図書館	1	図書館に関わるボランティアの育成と支援	ボランティア養成講座の充実に努めるとともに講座を市民大学として開放し、今後のメンバー拡充のためのきっかけ作りを行った。	おはなしボランティアと音訳ボランティアの二つの養成講座を開催してスキルアップを図るとともに、一般の参加者にボランティア活動への参加を呼びかけ組織の強化を図った。 また、40周年イベントでは音訳ボランティアの周知を行った。	おはなしボランティアと音訳ボランティアの二つの養成講座を開催してスキルアップを図るとともに、一般の参加者にボランティア活動への参加を呼びかけ組織の強化を図った。	A	継続	継続			
	2	地域の団体、関係機関等と連携・協力したイベント開催	戸田翔陽高校、かけはし特別支援学校と関係作りを行うとともに、美笹公民館と公民館まつりに参加するなど連携強化を図った。	美笹公民館まつりへの参加、新曽北小学校、芦原小学校、新曽中学校の児童・生徒の作品を展示するなど、地域の関係団体との関係強化を図るとともに、40周年イベントでは戸田市身体障害者福祉会等とも連携した。	下戸田商店会文化祭や美笹公民館まつりへの参加するとともに地元の小中学校の作品展示を行うなど地域の関係団体との関係強化を図った。	A	拡大	従来の取組みに加え、地元の英会話教室と連携した英語イベントの開催を予定。			
	3	図書館施設を活用したイベントの開催 (中央図書館1階ロビー等)	ソファ設置、クリスマスツリー展示、デジタルサイネージ移動で活性化を図るとともに、軽食販売を強化して利用者向けサービスを充実させた。	1階ロビーを活用して、軽食販売、原画展・パネル展・小中学校の作品展示を行うとともに、40周年イベントではコンサート、工作会、写真スポート設営など様々なイベントを行った。	1階ロビーを活用した軽食販売、原画展・パネル展・小中学校の作品展示を行うとともに、郷土博物館40周年記念祭では新曽中学校吹奏楽部のミニコンサートを開催するなど多くのイベントを行った。	A	継続	継続			
	4	地域の企業等と協働した事業の実施	商工会経由のキッチンカー出店で図書館の活性化に結び付けた。	40周年イベントでDNP協賛の工作会を開催するとともに、商工会経由でのキッチンカー出店も行った。	イオンモール北戸田店へのブックポストの設置に向け協議を開始した。	A	新規	イオンモール北戸田店へのブックポストの設置と協働イベントの開催、携帯電話会社との協働イベントの開催を予定。			
	5	公募市民委員を含む図書館運営協議会の開催	図書館運営協議会にて参加メンバーに図書館事業を説明し活動状況と今後の方向性について理解頂いた。	図書館運営協議会にて参加メンバーに図書館事業を説明し活動状況と今後の方向性について理解頂いた。	図書館運営協議会にて参加メンバーに図書館事業を説明し活動状況と今後の方向性について理解頂いた。	A	継続	継続			
	6	図書館利用者アンケートの実施	利用者アンケートの結果を図書館運営に活かしサービスの拡充を図った。	利用者アンケートを実施するとともに、40周年イベントのアンケート、おはなしボランティア実施のアンケートの結果を参考に、図書館運営の見直しやサービス向上に努めた。	従来の質問項目に加え、3月から開始したスマート申請、電子図書館、デジタルアーカイブなどの非来館者でも利用できるサービスに関する質問項目を追加してアンケートを実施し、結果を図書館運営に活かした。(利用者アンケート：2025年1月13日～1月26日に実施)	A	継続	継続			
上戸田分館	7	図書館に関わるボランティアの育成と支援	おはなし会への協力	福祉保健センターによる生活習慣病予防講座の開催	福祉保健センターによる歯と口の健康講座の開催、関連資料の展示	A	継続	継続			
	8	地域の団体、関係機関等と連携・協力したイベント開催	地域包括支援センターによる認知症サポーター養成講座での読み聞かせ実施、公園を使った防災イベントの実施		地域包括支援センターによる認知症サポーター養成講座での読み聞かせ実施、「広場で！みんなで！冬のあったか防災」実施	A	継続	継続			
	9	図書館施設を活用したイベントの開催 (中央図書館1階ロビー等)	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置	リーディングトラッカーの貸出、介護ケア情報コーナーの設置 【課題】グループ学習室の更なる利活用の向上	A	拡大 新規	グループ学習室にて学習用器材の導入・設置を予定。リーディングトラッカーの貸出と介護ケア情報コーナーの設置は継続。			
	10	地域の企業等と協働した事業の実施		未来屋書店北戸田店との連携展示、「広場で！みんなで！冬のあったか防災」実施	「広場で！みんなで！冬のあったか防災」の開催、戸田市本町商店会との共催事業開催	A	継続	継続			
	11	図書館利用者アンケートの実施	2023年2月6日～2月19日に実施	2024年1月29日～2月12日に実施	(利用者アンケート：2025年2月3日～2月16日に実施予定) おはなし会等の事業で参加者にアンケート調査を実施し、プログラム作成や事業企画の際に参考としている。大型絵本の活用や大人向け映画上映会の上映作品などでいただいた意見を反映した。	A	継続	継続			